

# テレワーク導入による中小企業のワークスタイル変革例

岡山の中小企業 株式会社 石井事務機センター 設立 明治44年(1911年)11月15日 社員数 32名(新卒入社5名含む)

## 「テレワーク」を導入したキッカケ

小さな子供がいるパート社員が、以前は子供の急な病気で休むことが多かった。休む方も・休まれる方も心苦しかったことがキッカケ。

お互いこんな風に感じていました

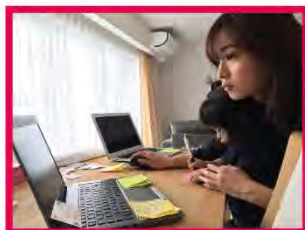
### 【休む側】

- ・急な欠勤で会社や仲間に迷惑をかけるのが心苦しい
- ・休んだ分、お給料が出ないので生活が苦しくなる

### 【休まれる側】

- ・仕事のがのしかかるので、不満が溜まる
- ・休んだ人の分、残業が増える

**結果** 社内と同じ環境で仕事が出来、電話対応・来客対応などが無い分業務に集中出来る。結果、社内よりも生産性は高まった。



女性社員  
在宅ワークの1日



- ◇ 出退勤の通勤時間がまず確実に無くなります。
- ◇ 合間に少しでも家事が進められるだけで、その後の段取りやゆとりが全然違います。
- ◇ 子供の都合に合わせて合わせることができます(例：午前中は子供の参観日等→午後から在宅ワーク)。

## 導入成果紹介

順位	企業名
1	中国銀行
2	西信グループ
3	西信システムズ
4	トマト銀行
5	天童屋
6	ハヤシ
7	おみやぎ信用金庫
8	山陽新聞社
9	石井事務機センター
10	日本カネオキグループ
11	廣栄堂
12	ハローズ
13	ガイテック
14	ベネッセインフォシタル
15	クラウン
16	イトコム
17	イダマート
18	セキスイハイム中四国
19	山陽マルナカ
20	林野

平成30年4月4日、山陽新聞朝刊より  
**2019年度卒業予定の大学生  
 岡山の希望就職先ランキング**  
 「社名も業界もひと昔前のイメージ」  
 「企業規模は30名以下」  
 「BtoBで学生への知名度は低い」…  
 にもかかわらず ▶ **9位ランクイン**

求人票に『在宅勤務可』と一文入るだけで  
 応募者数が**1.8倍!**

残業時間削減! ※2016年-2017年対比

残業	41.3%減	売上	104.8%
人時生産性	107.6%	粗利	113.6%

## 現状の取組み

- ・外回りメンバー(営業・メンテナンス部)にもテレワークを導入し、全社員がテレワークを活用している。
- ・中小企業の経営者向けセミナーで自社の取組みを紹介し、中小企業へのテレワーク普及活動を行っている。